

## 小学校1・2年生

### 学習時間のめやす: 10～20分以上

(10分×学年)

「赤子には肌を離すな」 「幼児には手を離すな」

「子どもには目を離すな」

学童期になったら手を離しても目を離すな

#### 家庭学習のポイント

基本的な生活習慣を身につけましょう

○「早寝・早起き・朝ご飯」

愛情のこもったコミュニケーションをとりましょう

家庭に学びの環境をつくりましょう

○正しい姿勢で座る。

○鉛筆を正しく持つ。

○明日の授業の準備をする。

○身の回りの整理整頓をする。

#### 家庭学習の内容や方法

○宿題を最初に取り組みましょう。

最後までやり終えましょう。

今日、学習したことを振り返りましょう。

○困ったときは家族に相談しましょう。

○好きな本をたくさん読みましょう。

○ICT端末(タブレット)を活用してみましょう。

(持ち帰った場合は)

・チーテレスタディーネット

<https://sites.google.com/ice.or.jp/chi-tele2/>

・小学校版 ちばっ子チャレンジ100(国、算)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kvouiiku/shidou/gakuryoku/challenge.html>

・デジタル学習「ラインズeライブラリ」

<https://katei.kodomo.ne.jp/pc/student/kateitop/login/>



さわやかに  
げんきよく  
むちゅうになって

#### 学校では…

○「読み・書き・計算」

基礎基本となる内容を学習します。

○繰り返し学習

何度も練習することで力がつく学習内容がたくさんあります。

○生活と結びついた学習

具体的に使ったり、実際に体験したりする学習が中心です。



#### 家庭での援助

○学ぶための環境づくり

・テレビを消す、勉強をする場所を整理整頓するなど各家庭で工夫したり、話し合ったりしましょう。

・一緒に散歩をしましょう。

季節の変化、人々の働く様子の観察が知的好奇心を旺盛にします。

○学習時間の確保

・毎日の学習時間を決めましょう。

・一緒に学習できるよう工夫しましょう。

○学校からの連絡やお便りの確認

・明日の授業など、子どもと一緒に確かめましょう。

#### アドバイス

一緒にやれることを一緒にやる。

できたことをほめる。

日ごとの変化を喜ぶ。

「肌と手を離すな」は、まだ大切。



「習慣づけの1年生

習慣が定着し始める2年生」

やればやるほど伸びる低学年